

~街のとなりの島でくらす~

淡路市 島くらし読本

AWAJI City life handbook



神戸から橋を渡つて

すぐとなり。

自然が豊かで

食べ物がおいしい。

自分たちのペースで

自分たちらしく。

島で暮らしながら

街での仕事や

楽しみもあきらめない。

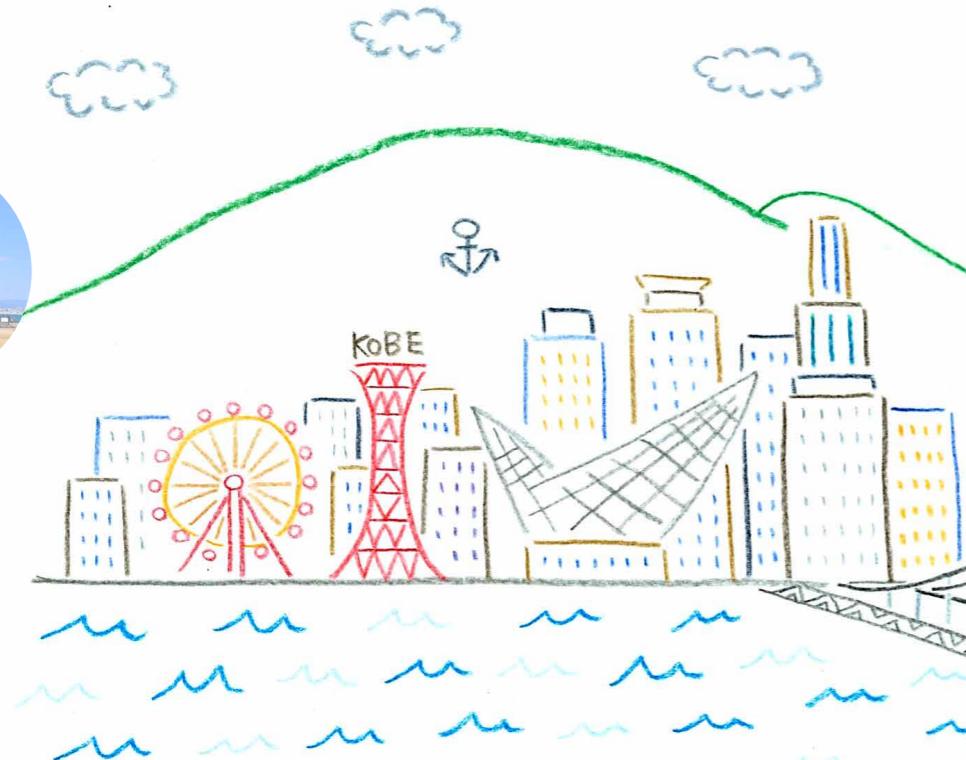
そんな暮らし方、

働き方が出来るところ。

淡路市が、

いいですよ。





~街のとなりの島でくらす~
淡路市 島くらし読本
AWAJI City life handbook



CONTENTS

表紙写真：しまフォト はたみちこ
イラスト：近藤ハジメ



- 都會の近くで「島暮らし」…… 3
- 島と都會を行き来してはたらく…… 4
- 島ではたらく…… 5
- 住まいについて…… 7
- 淡路市子育て座談会…… 9
- 淡路市の教育環境…… 10

大阪湾から太陽が昇り、
瀬戸内海に日が沈む

低い山の上を通って風がのびのびと
思うがままに行き交う

刻々と移り変わる、海の色、空の色
花の香りや風に乗って届く玉ねぎ畑の匂い

鮮魚に野菜や果物の、お店に並ぶ顔ぶれで
季節の移り変わりを知る

島にかかる橋は、
いつでもどこにでも行けるだけではなく、
いつでもどこからでも帰って来られる

かざらない温かでおおらかな人とのつながりは
変わらないこの島の魅力

もうひとつふるさとが選べるとしたら、
こんなところを選びたい



街
島

島と都会を行き来してはたらく

大阪や神戸に店舗や職場がありながら、淡路市に住まいや拠点を持つという、デュアルな生活を選んだ3組の方々に、移住のきっかけや働き方についてのお話を伺いました。

01

池田 翔太郎さん…転職なし：神戸市の製造業勤務
池田 美穂さん…外資系企業勤務から起業：結婚相談所経営
池田 実優(2)ちゃん

●移住年月=2019年1月



家族3人で四国の剣山へ行ったときの写真。



自然の中で暮らし、都市で働く

大阪からもっと神戸寄りの場所で引越し先を探していたときに、ふと淡路島も候補に上がりました。住んでいた街は駅前でなんでも揃うとても便利な場所で、子育て支援も充実していたのですが、二人とも趣味が山登りで、自然が好きなんです。淡路島は島なのに余裕で通勤圏内なことが分かり「自然に囲まれて暮らしながら都市で働くなんて！」と、話を進めました。「まずは試してみよう」と暮らし始めましたが、便利な街からの生活の変化は驚くほど問題ありませんでした。気軽に海に行けるのに、生活は都市の暮らしとそんなに変わらない。想像以上に橋も渡らず島内ではほぼ完結している日々です。ただ暮らしているだけで目に入ってくる毎日の景色の美しさに感動しています。

02

亘 一博さん…転職なし：飲食店経営
亘 あゆ美さん…転職なし：バイヤー
亘 我旺(6)くん 亘 伽羅(4)ちゃん

●移住年月=2016年4月



あゆ美さんが取り扱うカラフルな雑貨やアクセサリー。



自分たちの生き方を追求できる、自由さがある

大阪と和歌山に職場があって、旅行と買い物の仕事を兼ねて海外にも行くので島外に出ることが多いですが、どこに行くにもアクセスがいいので生活しやすいです。以前は大阪に住んでいて、その頃から「魚介類やお寿司がおいしい！」と淡路島に通っていました。通ううちに「子育てがしやすいのでは？」と移住を決意。数年かけて土地を見つけて家を建てましたが、家が建つまで待ちきれず、最初は賃貸物件に暮らしていました。私たちの子育てのテーマは「ハイブリッド」。土に触れる毎日を過ごしながら、大都市にもすぐ出られる。自然の中で生きていることを体で理解しつつも、都会にある最先端も知っている。それが可能のが淡路島だと思っています。

03

板坂 桂華さん…「Si Tu Veux by the Sea」オーナー

●店舗オープン=2019年



店舗は、毎月不定期にオープン。子ども服や雑貨に絵本はギフトにもぴったり。



普段とは違う豊かさを教えてくれる

京阪神に住み、神戸で子供服のセレクトショップを開いて20年が経ちます。web通販が台頭し買い物の方法がたくさんあるこの時代に自分が本当にしたいこと、提供できることは何だろうと思いまぐらされました。そんなとき、パリやミラノから車で一時間程の郊外に暮らす友人デザイナーたちの姿を見て「都市でなくても豊かな時間は存在する」と気付き、郊外にも店を構える構想をスタート。淡路島は昔からよく来ていて好きだった場所でもあり、農業と漁業が交わるこの場所を気に入り、建築家を目指す娘に設計を任せました。子育て中は特に人ととの交流が必要です。普段とは違う「豊かさ」を知るような場を提供していきたいと思っています。

都会の近くで「島暮らし」ができる。
それが淡路市の魅力です。



自然の豊かさと利便性か。二者択一ではなく、

両方の「いいとこ取り」をした新しいライフスタイルが、このまちにはあります。

淡路市まで神戸中心部から車で約30分、大阪から約60分。

「島」と「都会」を明石海峡大橋を渡れば数十分で行き来できるのです。

淡路市で自分らしい暮らし方を見つけてみませんか。

● 淡路市までのアクセス



車で

神戸中心部 約25分
大阪 約60分



垂水 IC 約10分
淡路 IC



高速バスで

JR新神戸（新幹線） 約15分
神戸空港 ポートライナー 18分
大阪国際空港 バス 約40分
関西国際空港 バス 約65分



三ノ宮 約40分
淡路 IC



船で（高速船ジェノバライン）

明石 約13分
岩屋港



07

藤本 雄太さん…島内製造業へ転職
藤本 梨沙さん…島内企業で事務職パート
藤本 玲雄(5歳)くん 藤本 梨心(1歳)ちゃん

●移住年月=2018年10月



花さじきは家族でよ
く遊びに行くお気に
入りの場所。



島でもらった縁を大事に育てたい

夫婦ともに東京で生まれ育ったことに不満はありませんでしたが、淡路島の玉ねぎに惚れて移住しました。初めて知ったその土地は「島」のイメージからはほど遠い、利便性の高さに驚いたことを覚えています。移住後に関西圏で転職活動を行い、都市部へのアクセスの良さを実感しました。縁あって島内の同世代の社長が頑張る企業に就職でき、島の魅力を島外へ伝える一端を担うことは刺激にもなっています。妻も島内で事務職のパートをしています。海を眺めて振り向けば山がある。Amazonも翌日届く(笑)。世帯年収は正直だいぶ下がりましたが、ご近所からのいただきものも多く、変わりなく暮らせています。思い切って行動してよかったです。

08

ヴィレ パスカルさん…フランス菓子教室「Atelier Pascal」主催
ヴィレ 寛子さん…「Atelier Pascal」運営
ヴィレ マノンちゃん(9歳) ヴィレ ジュリアンくん(7歳)

●Uターン=2011年



いつでも帰ってこれる穏やかで優しい場所

淡路市で生まれ育ち、大学から島外に出て、神戸で就職しました。南フランス出身の夫と神戸で出会い、8年前に芦屋市から実家のある淡路市に戻ってきました。それこそ大自然の中で育った夫からすると、庭もないような場所で暮らすのは子どもが不懶でならない、と。淡路島は十分なスペースがあり、土がある。放課後に自然の中で遊べる。自分も朝起きて鳥の声を聞きながら焼き立てのクッキーと紅茶を楽しめる。この環境に魅力を感じています。夫は日本に来て30年経ちますが、イタリアや中国などでも仕事をしています。彼は感性で生きている人なので今後もさまざまな場所に行く可能性はありますが、ここが必ず帰ってくる場所であることに変わりはありません。

淡路市に移住するなら仕事はどうする？

島内

デュアル

島外

【就職】
観光・介護・医療・小売業などは、年間を通して多くの求人があります。また、農業や漁業などの1次産業については、繁忙期のみに募集がかかる仕事もあります。

【起業】
都市圏が近く恵まれた自然環境を活かした食・農・観光関係や、働く場所を選ばないデザイン・ウェブ関連が多いです。



ハローワーク 淡路市

検索

淡路市商工会でもハローワークからの求人情報を掲載しています。
<https://sci-awaji.jp/wp/hellowork/>

島ではたらく

近畿圏にすぐに出られる淡路島の立地を活かし、農業、飲食店、観光等の事業で起業する人が増えています。また農業や漁業等の1次産業のほか、観光・医療・小売り業などの求人もあるので、淡路島の企業に転職する方も。島内をメインに仕事をしている方々にお話を伺いました。

04

野田 樹さん…JICA職員から農家へ転身「淡路島ファーム 太陽と海」
野田 志乃さん…島内の農家で研修後、農家へ

島の太陽と潮風を浴びた
力強いお野菜を鮮度高く
提供しています。



●移住年月=2016年8月



この海と空と大地の恩恵を届けたい

東京で働きながら、夫婦で農業を始められる場所を探していました。お互いの実家や友人たちが多い関西エリアにあり、農業には欠かせない天候の良さにも恵まれている。そんな淡路島に出会った頃、ちょうど地域おこし協力隊の募集があると聞いて応募し合格しました。隊員業務と並行して新規就農の準備もすることができて、今は都市部のご家庭やレストランに野菜を届けられています。「地に足の付いた仕事をしたい」という希望が叶い、自由に遊び回れる環境で子育てもできていて満足しています。しかも、子連れで畠作業しているときに子どもが泣いていたら、お宅に連れ帰って面倒見てくれる近所のおば様がいたり。人の温かさにも感謝しています。

05

北村 一雄さん…島内物流会社へ転職
北村 由美子さん…起業「Yucaria(ユーカリア)」
北村 龍玖(10歳)くん 北村 天登(2歳)くん

椿油は、淡路島で採れた
椿の種を100%利用して
います。



●移住年月=2016年4月



島に根ざした活動を仕事に

山陰地方から関西方面で引越し先を探しているときに、友人のつながりがきっかけで淡路島に来ました。夫は市内の企業に転職し、私は起業し、椿油の魅力を広める活動と「もったいない」をプロデュースする活動をしています。淡路島は都会に近い田舎。自分の出身地に比べればなのかもしれません、田舎なのにいわゆる“田舎のしがらみ”が少ない気がしています。それでいて、この土地に身寄りがない移住者同士はもちろん、地元の人たちも助けてくれる稀有な場所。移住者と話していると仕事も住む場所も不思議な縁で見つけている人が多い印象を受けます。もし何か淡路島が気になっているなら、その兆候なのかも？ と思ってもいいかもしれませんね。

06

池田 敬之さん…芦屋から移転「Osteria della Capanna」
池田 幸子さん

地場のとれたて鮮魚やジ
ビエと丁寧に育てられた
野菜や果物がお皿を彩り
ます。



●移住年月=2016年



島の恵みをゆっくりとした時間と共に味わえる場所を

ここに来る直前は、芦屋川駅前でたった6坪のお店をやっていました。イタリアで5年ほど修業しましたが、向こうには田舎にも、いいお店が普通にありました。自分もいつかはもっとのんびりした所で畠も持つて地産地消スタイルの店をやりたいと思っていたので、芦屋時代に狩猟免許を取るなど準備は進めていました。お客さまから「こんなに近いのに、橋を渡るだけで旅行気分が味わえる」と、淡路島のことはちょくちょく聞いていましたし、食材として魚貝類や鳴門オレンジなどは当時から使っていて。食材が一通りそろうことが最後の決め手になりました。物件探しは本当に大変でしたが、海を眼下に臨むこの場所に巡り合えて満足しています。

島の暮らしを体験してみよう

淡路市に移住を希望している方に、島の暮らしを体験してもらうため、一定期間利用できる「暮らし体験住宅」、県営住宅を利用した「お試し居住」があります。買い物や交通などの生活の利便性を確認したり、自然あふれる環境を体感したり、仕事や物件を探したりなど、淡路市で暮らす準備期間として活用できます。

淡路市暮らし体験住宅

(2020年3月現在)

仁井サンハイツ(1戸)



住所：淡路市仁井 128-10
間取り：3LDK
賃料：29,500円／1か月
利用期間：1か月～3ヶ月
備考：生活に必要な家具家電付き
その他諸条件あり



アメリカ村(2戸)



住所：淡路市大町下 78
間取り：2LDK・3LDK
賃料：25,950円・34,600円
利用期間：1か月～3ヶ月
備考：生活に必要な家具家電付き
その他諸条件あり



兵庫県お試し居住

(2020年3月現在)

県営団地「お試し居住」 東浦久留麻鉄筋住宅



住所：淡路市久留麻
間取り：3DK
賃料：17,400円～46,300円／1か月
利用期間：原則1年以内
(最大1年まで延長可)
備考：敷金3ヶ月、その他諸条件あり



淡路市の住まいについて

淡路市の中でも住むエリアによって特徴があります。新しく建てるのか売り物件を探すのか、アパート・公営住宅・一戸建て・古民家などを借りるのか、住まいにもさまざまな選択肢があります。

●エリアごとの特徴

●西海岸/中央部

- ・自然を満喫できる
- ・風向明確・海水浴場・里山
- ・美しい棚田が残る山間部も多い
- ・別荘地多い
- ・土地単価安



●東海岸

- ・生活便利で温暖
- ・冬に温かい
- ・国道に沿って商業施設・病院
- ・公園が多い・海水浴場

●淡路市の住宅事情

- (例) ●1ルーム: 3.0-4.5万円
●3LDK: ~7万円
・駐車場1台込の場合が多い
・敷金礼金などの初期費用が都会に比べ
高いことが多い



築浅物件は島内の人も探しているため、物件が出ても即座に決まってしまうことが多い。空き家は多いが、なかなか物件として表に出てきにくい。まずは賃貸に住んでみる、または、移住相談窓口や不動産屋さんと密にコミュニケーションを取り、継続的に連絡を取るのがコツ。



住まいのコラム

地域とのつながりこそ、この島の最大の魅力

島での暮らしを楽しみたいなら、やはり、地元とのつながりは欠かせません。都会暮らししかしたことがない人や、ご近所さんとのお付き合いをするのが苦手という人もいるかもしれません、島の人の懐に思いっきり飛び込んでみることをおすすめします。町内会もぜひ入ってください。都会暮らしに比べると、面倒なこともあるのかもしれません、楽しいことや、助けられて感謝することの方がきっと多いと思います。年々減ってはいるものの、淡路島の暮らしには「祭り」の文化がまだまだ残っています。この毎年恒例の大きなイベントを地域の人と共に体験できることは、島くらしの大きな大きな醍醐味のひとつです。また、忙しい時期に農作業をお手伝いしたり、町内会の道路清掃（島内一斉清掃が年2回程度あります）に参加したり。共用エリアの草刈りをする、地元の方で移住者や引っ越ししてきた人とのつながりをつくろうと動いている方々と仲良くなつてみると、自分たちができる小さなことから少しづつ構いません。ぜひ自ら地域の人とのつながりを楽しんでみてください。きっと新しい発見が待っていると思いますよ。



●物件探しに役立つサイト

■淡路市空き家バンク

市内への移住・定住を希望する方に対して、空き家情報を紹介しています。



■淡路市不動産情報ネットワークAREIN

淡路市商工会サービス部会の中の不動産業者が集まり、物件情報を1つにまとめています。



●淡路市へ移住した方々の声

実際に住むと
想像と違うことがでてくるので、
移住を考えているのなら
まずは1週間でも1ヶ月でも
住んでみるのがいいと思う。



島なのに、島じゃないというか。
都会と変わらない生活が送れる場所。
移住というと大きさに感じるけれど、
引っ越し先という感覚で
住むことを考えてみては。



いきなり大きな決断をするのは
大変だけれど、
まずは賃貸でスタートして、
そこを拠点にいろいろ
探していくといいと思う。





個別移住相談はもちろん、
淡路市の暮らしや人を知ってもらうイベントや
バスツアーを開催しています。

 神戸のおとなり淡路島
淡路市移住サポート窓口

(運営)NPO法人 島くらし淡路

住所 〒656-2212 兵庫県淡路市佐野404-2
TEL:0799-70-6876 FAX:0799-70-5207
mail:sk.awaji2016@gmail.com
Web:<https://www.awaji-teijyu.jp/>

※水曜定休 面談をご希望の方は事前にご予約をお願い致します。

最新情報は
ウェブを
ご覧ください。

